

# みんなのた場

スポット  
ライト

## 「河北町」 同名市町の絆深まる

### 山形の友好都市へ 石巻の特産品届ける

6月に山形県河北町から石巻市の全保育施設利用児と小中学生へさくらんぼ約1万2600人がプレゼントされました。その感謝の気持ちと7月豪雨災害のお見舞いとして、河北地区

で製造されている瓦せんべいといしびよんずがプレゼントされたラムネを、9月25日に河北町の子どもたち約2500人に届けました。複数ある施設の中から「かほくあいこども園」と



園児の皆さんといしびよんず&河北町公式マスコットキャラクターへのすけ



児童の皆さんといしびよんず&河北町公式マスコットキャラクターへのすけ



河北町長(左)へプレゼントを贈呈

「北谷地小学校」の2カ所を河北町公式マスコットキャラクター「べにのすけ」とともに訪問し、いしびよんずから代表園児と児童へ直接プレゼントを贈呈しました。

石巻市(旧河北町)と山形県河北町は、同じ町名をきっかけに市民・町民の友好協力関係の促進や両市町の特性を生かした交流と地域の活性化の推進を目的に平成13年1月に友好都市の盟約を締結しました。毎年、多岐にわたる友好都市交流事業を行ってきたが、今回のプレゼント事業を通じてより一層両市町の絆が深められました。

文化財 たんぽう 115

## ベンガラが付着した土器と石器

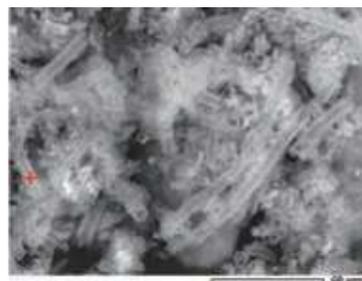
生涯学習課

立浜貝塚出土遺物から

平成26年度に実施した雄勝町立浜貝塚の発掘調査では、赤い物質が付着した土器片と石器が発見されました。土器片は、「注口土器」と呼ばれる、土瓶のような形をした縄文時代晩期の破片で、文様の隙間にわずかに赤色物が残っていました。石器は「石皿」で、物をすりつぶしたりする道具と考えられており、表面に広い範囲で赤色物が見られました。これらはほぼ同じ地点から出土しており、この赤色物質が何であるかを探るために科学分析をお願いしました。分析方法は「蛍光X

線分析法」と呼ばれるもので、蛍光X線を照射して放射線を分析することで、そのものの持つ元素を解明するものです。その結果、両方の遺物に付着した赤色物が「ベンガラ(パイプ状ベンガラ)」であるとの結果が出されました。パイプ状ベンガラは、沼沢地などで鉄バクテリアが作り出す鞘状の物質(酸化鉄)で、これを焼きしめると鮮やかな赤色を発色します。直接的な証拠はありませんが、湿地などから採集し、焼きしめておいた酸化鉄を石皿ですりつぶし、土

器に塗って彩色したという推測も成り立ちます。縄文時代におけるベンガラの使用例としては、仮面や装身具に対する彩色や、埋葬の際の散布など、呪術や儀礼によるものもありますが、土器は、生活用具としても広く使われていたものであり、縄文人の芸術性を反映したものであるとも考えられます。バクテリアが作り出す鉄を、鮮やかな赤色塗料として、縄文時代晩期の人々は広く活用していたのです。



パイプ状ベンガラ



石皿土器

## ささえあいセンター通信 ①

ささえあいセンターがオープンしてから半年が経過しました。今月から、センターでの活動内容や、地域包括ケアについて皆さんにより知っていただくための記事を隔月で紹介していきます。

今回は、「地域包括ケアシステムってなに?」と題して、第1回ほっとお〜る市民講座での長純一包括ケアセンター所長の講話からお伝えします。

### 地域包括ケアシステムってなに?

地域包括ケアシステムとは、介護が必要な状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される仕組みのことです。



地域包括ケアシステムとして、市では二つの取り組みを進めています。一つは、医療・介護・行政での連携の強化を進める取り組み、二つ目は、住民の皆さんとともに協働して地域課題を一緒に考えていく取り組みです。



住民の皆さんにおいては、特に地域でのサロン活動や老人クラブ、趣味の集まりや見守り活動への積極的な参加など、住み慣れた地域をより好きになる活動に参加していただくことが何より重要と考えます。

医療や介護の仕組みが重要なのは間違いありませんが、医療が充実している地域の方がむしろ寿命が延びていないことが分かっています。むしろ、地域のさまざまな活動が盛んで、住民の緩やかな見守り・助け合いなど地域のつながりが強い地域の方が、要介護状態や認知症になりにくく、長生きできると考えられています。

健康寿命の延伸には、友人が多いことがより重要と分かってきました。その点でも、地域の活動に参加するだけでなく、主催する(お世話する)側に回ってみる、なども地域の皆さんにとって有意義であるといえます。

☎ 包括ケア推進室(内線 2572)

# 河北 広い放牧地との別れ惜しむ

上品山牧場の本年度放牧が終了



## Topic of town まちの話題



市営河北上品山牧場の本年度放牧が10月30日で終了しました。本年度は例年より1カ月遅れの6月26日に放牧が始まり、市内14農家から黒毛和牛の雌36頭が預けられました。最終日は、出産などのため途中退牧した9頭を除く27頭が下山。体重測定、消毒の後、迎いの車に乗り込みましたが、中には126日間過ごした広い放牧地との別れを惜しむように抵抗する牛もいました。

# 雄勝 被災した古里を花で飾ろう

第2回「おがつ植樹DAY」活動

東日本大震災の被災地跡を美しい花で飾る「雄勝ガーデンパーク計画」の植樹活動「おがつ植樹DAY」が10月28日、地区内2会場で行われました。今年2月に続く2回目の活動で地区住民ら50人が参加。雄勝字小淵の民家跡地にシダレザクラ、旧雄勝中学校跡にキウイ、イチジク、梅など合わせて約200本を植えました。害獣対策も施し、数年後にはきれいな花が咲き誇るよう願いました。



# 石巻 復元船を背景に舞や歌、演劇

サン・ファン出帆記念祭にぎわう

慶長遣欧使節帰国400年記念「サン・ファン・パウティスタ出帆記念祭」が11月3日、渡波の県慶長使節船ミュージアム(サン・ファン館)で開かれました。来年3月に公開を終える復元船を背にした野外ステージで、伊達武将隊の演武、渡波獅子風流千寿会の舞、少年少女合唱団「Barcarolleサン・ファン」の歌、「『夢回帰船』出航プロジェクト」による演劇などが披露され、多くの来場者を楽しませました。



# 桃生 チュニジアって素敵な国です！

五輪ホストタウン相手国をPR

東京オリンピック・パラリンピックの「復興『ありがとう』ホストタウン」相手国のチュニジアを知ってもらおうと、石巻市国際交流協会は10月10日、「2020チュニジア観光物産フェア」を桃生公民館で開催しました。会場には青い海と白い建物を写した観光ポスターやパンフレットなどが展示されたほか、魚のオリーブオイル漬けなどの物産販売もあり、来場者の関心を集めていました。



# 河南 心安らく音色で観客を魅了

杉元さんがピアノコンサート

東松島市出身のピアニスト杉元太さんのコンサートが10月24日、遊楽館コモレピフォーラムで開かれました。市複合文化施設開館イベント事業「宵の秋コンサート」の第1弾。杉元さんがモーツァルト、ショパンの楽曲などを心安らく音色で演奏し、130人の観客を魅了しました。11月3日には第2弾として仙台フィルハーモニー管弦楽団メンバーによる弦楽四重奏が披露されました。



# 牡鹿 元気いっぱい3種目競う！

大原小でミニミニ運動会と収穫祭

大原小学校で10月23日、ミニミニ運動会が開かれました。雨のため会場が校庭から体育館に変更になりましたが、5、6年生が企画した玉入れ、リレーなどの3種目を全校児童20人が元気いっぱいに競い合い、応援に駆け付けた保護者たちを喜ばせました。また、児童が学校近くで育てたサツマイモの収穫祭も行われ、ふかし芋にして、運動会終了後に保護者と一緒においしく味わいました。



# 北上 おいしい餅料理を楽しみに

北上小3年生が稲刈り体験

北上小学校の3年生17人が10月15日、北上町女川の水田で稲刈りの体験学習に励みました。北上地区保全会などが主催する農村環境活動の一環で、児童たちは保全会員らの指導を受け、6月9日に田植えした「みやこがねもち」の稲を鎌で刈り取り、乾燥させる棒掛け作業も体験しました。12月上旬に学校で収穫祭を行い、保護者や稲作でお世話になった人と一緒に、餅料理を味わいます。

